

議案第74号

「雪国」日本画購入契約の

締結についての討論

可決

反対討論

佐藤守正

高山辰雄画伯の「雪国の月」が完成したということで特別展が雪国館で開かれた際、町民の入館者はわずか14人だったという。町内の全世帯に無料入館券を配布したにも関わらずである。担当者は町民の関心のなさを嘆いていたが、町民は決して関心がないのではない。町民の関心は絵の良し悪しにあるのではなく、この時期に6点の絵を3千100万円（前回は8点を3千100万円で購入しており、合計は14点6千200万円）で購入する

ことに對して向けられているのである。財政難だから町民負担の増額もせねばならないとしている町執行部が、町民生活に直接関係のない事柄に對してこのような支出を無神経にすることへの反発が町民の中には渦巻いていることを、行政はもつと敏感に感じ取るべきである。

この絵の購入が観光客増に結びつくことは考えられず（雪国館への入館者がこの絵をついでに見ることはあっても、それを見たくてわざわざ湯沢にくるといふ観光客がはたしているだろうか？）、町民にとつては、町長の嗜好を満足させる無駄遣いとし映らないこの契約締結には反対である。

反対討論

南雲和夫

自治体の理念、使命は住民の福祉の向上と公共サービスの提供にあり、事務処理を行う上でも最小の経費で最大の効果を挙げるよう努めなければならぬと定められています。

また、議会の使命には、正しい批判と監視があります。住民の代表として住民の声や心を代表するものでなければなりません。町民全体の利益のため、公平にその権限を行使すべき厳しい立場にあります。いま、町民が求めている

ることは、町の将来、その着地点をどこに定めていくのか、この問いに答えていくためにも、互いの勇気と奮気が求められています。

現在、進めている事業の見直しや行財政改革の前提は、住民との理解と協力が不可欠です。特に税金の使い方、使われ方に対する認識、監視の重要性が強まってきています。

この度の絵画購入契約にあたっては、住民の理解が得られたとは、どうもいえないと思います。また、その契約に結びつけられるだけの条件（要求度、対効果、緊急性）が見い出せません。従って再度この契約に反対し、その討論とします。

他 田村計久

賛成討論

今村定一

町長、担当課長の姿勢を伺う中、湯沢町の再生への第一走者としての使命を託したいと思う気持ちで、前回に引き続き賛成いたします。

町として大きな試練の選択だと受け止めます。ただ「行財政改革」という言葉の中に全てを包み込まれたなら「不満」「我慢」という言葉しか残りません。一筋の光を求め、やがては大きな暖かな光に成長させる想いは許されるはずで、私はそう感じます。町長、担当課長ともに残された時間が無いことを念頭に、知恵と手法を駆使して、雪国湯沢の文化芸術を県内外はもとより世界へ発信されることに大きな望みを託し賛成意見と致します。

他 柿崎直治

森下昌次